

令和5年6月22日（木）

令和5年度 第2回横山小学校運営協議会

～ 次第 ～

※開催要件（過半数の出席）確認

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出（出席した委員の中から互選）
- 4 前回会議録確認
- 5 熟議
 - (1) 運動会について（教頭）
 - ※150周年記念イベント バルーンリリース記録動画視聴
 - (2) 学校環境について（校長）
 - ※校内施設見学
 - (3) 学校のきまり「横山小学校の約束」について（教務）
- 6 報告
 - ・学校教育活動等支援のお願い（学校支援コーディネーター）
 - ①花の苗を植えて学校環境の美化を進めながら、児童と交流したいいただける方
 - ②学校の環境整備について御支援いただける方
- 7 連絡
 - ・浜松市教育委員会 教育総務課より
 - ・次回
開催日時：令和5年10月17日（火） 14：00～16：00
議長選出：席順による輪番制
熟議内容：

令和5年度 横山小学校運営協議会名簿

※敬称略

		氏名	備考	
1	会 長	青山 敏郎	人権擁護委員、元校長	
2	副会長	溝口 玄	竜川ふれあいセンター活動推進委員会委員長、元校長	
3	委 員	内野 永士	竜川連合自治会長	
4	〃	藤澤 徳次	龍山連合自治会長	
5	〃	今場 嘉寿	元横山小PTA会長	
6	〃	長田テツ子	元体育指導員	
7	〃	田中 綾	R4PTA会長代理、元竜川幼PTA会長	
8	〃	太田亜希子	学校支援コーディネーター、保護者代表、元竜川幼PTA会長	
9	〃	植田 渉	R5PTA会長	
	ハザパ-	増田 建一	竜川ふれあいセンター所長	
	ハザパ-	藤澤 典広	龍山協働センター所長	
	ハザパ-	坂井 久司	龍山民生委員、児童委員協議会会長	
	ハザパ-	森下 智子	竜川主任児童委員	
	ハザパ-	藤原二三美	龍山主任児童委員	
		河内 浩	校長	
		川村 雄司	教頭	
		伊藤 卓也	教務主任、コミュニティ・スクール担当	
		沖 みどり	CSディレクター	
		市川 有佳	学校支援コーディネーター、図書館補助員、理科支援員	

令和5年度 横山小学校運営協議会 年間開催計画

回	日時	場所
第1回	令和5年 4月28日(金) 14:00~16:00	横山小 CSルーム
第2回	令和5年 6月22日(木) 14:00~16:00	横山小 CSルーム
第3回	令和5年10月17日(火) 14:00~16:00	横山小 CSルーム
第4回	令和6年 2月 6日(火) 14:00~16:00	横山小 CSルーム

令和5年度 第1回 横山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月28日（金） 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 横山小学校 3階CSルーム
- 3 出席委員 内野 永土、藤澤 徳次、青山 敏郎、溝口 玄、長田 テツ子、
植田 渉
- 4 欠席委員 今場 嘉寿、田中 綾、太田 亜希子
- 5 オブザーバー 増田 建一（竜川ふれあいセンター所長）、藤澤 典広（龍山協働センター所長）
坂井 久司（龍山民生委員）、森下 智子（竜川主任児童委員）、
藤原 二三美（龍山主任児童委員）
- 6 学校支援コーディネーター 市川 有佳
- 7 学 校 河内 浩（校長）、川村 雄司（教頭）、伊藤 卓也（CS担当）
沖 みどり（CSディレクター）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から内野委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）令和5年度学校運営の基本方針について
- （2）いじめの防止のための基本方針について
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会の川村教頭から、委員総数9人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和5年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 運動会が秋の開催から春になった理由を教えてください。（青山会長）
- ・ 2学期の行事が詰まっており、少人数である子供の負担や熱中症の緩和も考え、比較的行事が緩やかな1学期に開催することにした。また、150周年記念のイベントもあり、2学期に集中させるよりは分散させたほうがよいのではないかという意見もあったため。（校長）

- ・ 150周年とは、いつが基準になるのか。(青山会長)
- ・ 学校経営書にある沿革にも記載があるように、頒布された明治5年ではなく、明治6年の学校発足から計算したものである。(校長)
- ・ 浜松市教育委員会管内にて、どのくらいの学校が記念行事を執り行うのか。(青山会長)
- ・ それはわからない。ただ、行わない学校もある。大きなイベントとして計画せず、教育課程の中で活動する学校もあって、学校により差がある。(校長)
- ・ 二俣小学校では寄付を募って、タイムカプセルの掘り起こしや記念品を作るなど大々的に行うと聞いた。(溝口副会長)
- ・ 6年の娘をもつ保護者として、今現在6年生は男1人女1人の2名であり、同年代の交流がほとんどない状況で、親としても中学への進学に大変不安を持っている。他校との交流を増やしていただけるのは非常にありがたい。(植田委員)
- ・ 今年度6年生は、光明小学校の授業への参加を2回予定している。他にも、同規模学校の熊小学校、上阿多古小学校とのICT活動によるライブ通信等の準備を進めている状況である。(伊藤教務主任)
- ・ 小さい学校同士が集まって活動するもの良いが、大きな学校に入っていくこともよい経験である。また、同じ環境下の学校だけでなく、街中の学校との交流も考えてみるのもよいかと思う。その選択を子供たち自身に決めさせてみるのもよいのでは。(青山会長)
- ・ 子供たちが話し合いを通して自分の思いを話す交流の場が必要である。3小連合教育では、得るものがいろいろあると思う。(溝口副会長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) いじめの防止のための基本方針について

議長の指示により、伊藤教務主任から、いじめ防止のための基本方針についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 横山小学校でもいじめは存在するのか。(内野委員)
- ・ どこにでもある。嫌な気持ちになったというだけでもいじめとして認め、早期に対応していくことが大切である。(伊藤教務主任)
- ・ ちょっとした事でも、きちんと記録に残し早期に対応し、丁寧に進めていく。横山小は人数が少ないこともあり、比較的少ないとは思う。だが、0ではない。(校長)
- ・ 不登校はいじめが原因であるのか。(内野委員)
- ・ 不登校の原因については多岐にわたっている。いじめも一つの要因であると思う。(校長)

- ・ ひとつの例として、見に行くつもりであった映画のネタバレらしをされた。それが子供は嫌だと言う。何でもないことであるが、本人にとっては辛かったようである。本人にメンタルの強さが必要であるとも思うが、親としてどうかかわっていけばよいのか迷うところである。
(植田委員)
- ・ 今のお話では、いじめではないにしても嫌がらせとなる。それは、友達への思いやりや想像力に欠けているということである。学校では、すべての事柄に配慮する心を育ててほしいと思う。(青山会長)
- ・ 子供が、家族に気持ちを語ってくれる事がなにより救いである。(溝口副会長)
- ・ 学校とご家庭での情報を密にしていじめ防止に取り組んでいきたい。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 簡単に言うと何のお金であるのか。(青山会長)
- ・ 特色ある学校づくりとして予算で配られるもので、今回説明の分はC S加算としてどの学校も一律6万円いただいている分である。(教頭)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、学校教育活動等支援のお願いについての説明と、次回会議を令和5年6月22日(木)午後2時からCSルームで開催する旨の報告があった。

最後に今回出席のオブザーバーの方々より、出席した感想を頂戴した。

※ほぼ同意の内容は、まとめて掲載しています。

保護者

1】子供の様子

- ・いきいきしていた。特に一輪車に感動。
- ・種目により緊張感もあり、楽しそうにやっていた。来年も一輪車を頑張ってもらいたい。
- ・一輪車演技に感動。懸命な姿に心を打たれる。人数は少なくなるが続けてほしい。
- ・元気にのびのび、和気あいあい競技していた。整列、行進などは、びしっとできてよかった。一輪車で皆が協力して頑張っているところをうれしく思う。
- ・大人と一緒に競技を楽しんでいた。
- ・児童の少なさは何の問題もなく、力一杯、楽しそうに真剣に取り組んでいる姿に元気をもらった。
- ・少人数でスケジュールを心配したが、休憩時間がしっかりあり安心した。
- ・一輪車は、頑張ったことがよく分かるすばらしい演技だった。
- ・高学年が自然と下学年をフォローする姿にとっても感動した。

2】運営や準備

- ・棚橋さんが活躍してくださり、感謝。先生方との連携がよく、テント設営等スムーズ。ドリンクの手配もありがとうございました。片付けまで皆でスムーズだった。
- ・先生方の人数も少なくなっているため、中学生、地域、保護者も役割分担で手伝え、全員参加型で楽しくやれる。
- ・学校側の運営も行き届いていた。当日準備も皆さんでスムーズにできた。
- ・ボランティア準備は、7:30からでもよかったかもしれません。
- ・テントや椅子で観覧のしやすさに、暑さ対策も感じました。父兄も協力的で、サポート力を感じた。
- ・子供、地域のテントも体育館側で、一体感を出したかった。
- ・片付ける場所の写真があれば、先生方に聞かなくてもできると思う。
- ・地域種目への参加をもう少し周知できたらと思う。

3】その他（地域種目など）

- ・地域の人とも一緒に、にぎやかにできたことは、子供にとってよかった。子供そっちのけで燃えた。リレーも見えて楽しかった。参加してくれる人がたくさんいて素晴らしい。あと1種目ぐらいあってもよい。パン食い競争がやりたい。
- ・今回のように地域として盛り上げていけば子供たちも喜ぶ。一昔前まで地域連合体育祭として地域主催でやっていたので、運営方法も含め検討し、手伝えることは何でもやりたい。
- ・やはり参加して皆でやることに意義があるというか、楽しめる。玉入れもいざやるとおもしろく、リレーもよかった。大玉転がしや綱引きも人数がいればおもしろそう。
- ・地域テントが遠く感じた。受付が分かりづらかった。
- ・バルーンリリースに、久しぶりにわくわくした気持ちになって、よい思い出になった。
- ・幼児に参加してもらえそうな種目もあったらよい。
- ・数年ぶりの地域種目で、久しぶりに顔を見て、お元気そうで安心した心地になった。大人の参加種目により、また違った盛り上がりがあり、楽しみが増す。
- ・リレーは、子供たちが応援する側も経験できたと思う。

1】子供の様子

- ・どの子も一生懸命取り組んでいる姿が、とても感動的だった。
- ・元気に伸び伸びと、そして立派に取り組めました。
- ・練習以上の力を出し切ることができ、すばらしかった。アナウンスも上手でした。休憩時間に遊具で遊んでいたことが少し気になった。
- ・ほどよい緊張感も味わい、役割をこなす経験もし、力を合わせたり、楽しいこともあったり、力を出し切ったり、よい運動会だった。
- ・地域の参加も得て、地域種目もあり、運動会を楽しむことができていたと思う。

2】運営や準備

- ・5月開催ということで4月から慌ただしさがありましたが、次年度からはさらに効率的に進められると思う。
- ・梅雨の前で晴れる日が多くよかった。
- ・休憩時間が長くて子供たちの気持ちが緩んでしまわないように注意する。
- ・体育主任は本部辺りにいて、進行をコントロールするとスムーズ進む。地域の方に用具準備をお願いしたり、中学生にゴールテープをお願いしたりする必要もある。
- ・地域種目は、職員会議資料を渡し、5月初めと運動会前に打合せをした。児童練習にも来ていただいた。
- ・今年度は、前日にある程度テントを準備でき、余裕があった。もし前日雨でできないとも朝は忙しい。
- ・職員数が減り、児童の写真を撮影するのがなかなか難しかった。

3】その他（地域種目など）

- ・地域の意向との話合いになろうかと思うが、子供たちの姿を見ていると、何らかの形で地域の方に関わってもらうものがよいと思う。
- ・地域種目は初めてで、担当の地域の方は大変だったと思うが、今年度行ってみて流れが分かったので、来年度も同じ形で行いたい。

れいわ ねんど
令和5年度

よこやましょうがっこう やくそく
「横山小学校の約束」

1 登下校について

- ・午前7時30分から午前7時50分の間に登校しよう。
- ・通学路を通り、**近所の子同士**で登下校しよう。
- ・**出会**った人に「**自分**から」明るくあいさつをしよう。
- ・忘れ物は取りに帰らない。



2 校内の生活について

○生活にかかわること

- ・友達、先生、お客様には、**自分**から心を込めたあいさつをする。
「えしゃく」をしよう。
- ・職員室は、荷物をろうかに置いて、気持ちのよいあいさつをしてから入ろう。
- ・**ろう下**やかいだんは、**右**がわを**しず**かに**ある**歩こう。
- ・特別教室への移動は、みんなで並んで静かに歩いて行こう。
- ・次の学習の準備をしてから、休み時間にしよう。
- ・授業開始の**時刻**を守る。(2分前着席)
- ・身の回りの整理整頓をしよう。(つくえの中・ロッカーなども)
- ・自分のクラス以外の教室、特別教室、体育館、ベランダには、先生に断ってから入る。
- ・駐車場や体育館の裏側では遊ばない。
- ・わんぱく広場では、ボール遊びをしたり、一輪車に乗ったりしない。

○放課後のすごしかた

- ・学校から直接おけいごとや、塾などに行く場合は、担任の先生に知らせよう。
- ・帰宅後、学校に遊びに来た場合は校舎内へ勝手に入らない。どうしても、入る用事があるときは職員室の先生に言おう。

☆バス通学の子は、バスの時刻まで、理科室で読書をしたり運動場で遊んだりして待とう。

徒歩通学の子もバスが出発したら一旦下校します。宿題は、家に帰ってから取り組む。

3 校外の生活について

・外出するときは、「いつ・どこへ・だれと・何をしに・いつ帰るか」を、必ず家の人に伝えよう。

・自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶろう。

・学校で自転車に乗る場合は、わんぱく広場には乗り入れない。

・友達同士でお金や大切なものの貸し借りはしない。

・子供だけで、川で遊ばない。

・子供だけで、ゲームセンターや大型店のゲームコーナーには行かない。

・知らない人に声をかけられても、ついていかない。(いかのおすし)



4 服装について 「時と場に応じた服装」と「気候や体調に応じた」服装

○登下校時の服装

・校服(10~5月)

5・10月は校服の着用は各自で判断する。体調・気候に合わせて調節

・白いワイシャツまたはポロシャツ

・半ズボンまたはスカート(こん色の決められたもの)・ソックスは自由(華美でないもの)

※熱中症になりそうな時期は、帽子をかぶる。(安全面を考慮してキャップ型のものを)

※マフラー・手袋などは、玄関ではずそう。(名前を書こう)

※体調・気候に応じて長ズボンを着用するなど自分で調節をしよう。

※ジャージなど特別な服装で登校するときは、学校から事前に連絡があります。式、朝礼、

集会、コンサート・音楽発表会、一部の校内・校外学習等は校服を着用する。



こうない ふくそう
○校内の服装

- ・式や朝礼がないときは、朝、体操服に着替えよう。(教室・ランチルーム)
- ・冬場は体調・気候に応じて長袖や長ズボンを着用し、衣服の調節をしよう。
- ・一番上が体操服、または校服になるようにする。



たいいく ふくそう
○体育のときの服装

- ・体操シャツ・体操ズボン・赤白帽子(ゴムひもをつける)
- ・とても寒い時期(1・2月)は、健康状態や気候により長袖や長ズボンを着用する。

そうじのときの服装

- ・体育のときの服装で。(頭は三角巾か赤白帽子)
- ・とても寒い時期には、体調や気候により長袖や長ズボンを着用する。



きゅうしょくとうばん ふくそう
○給食当番の服装

- ・校服をぬいで給食エプロン・帽子・マスクをつける。
- ・手洗い、消毒をきちんとしてよう。



■この約束は、令和4年度末に見直し、改訂(朱書き部分)したものです。

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

<評価項目>

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標

※ 各協議会で追加する項目があれば5以降に設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

(1) 教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

(2) 教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

<本年度の目標>

--

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

--

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

--

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

--

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

--

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表
委員名 ()

＜本年度の目標＞

※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけでなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

※ 委員個人の目標だけでなく、協議会全体としての目標を記載する。

【 熟議チェックシート 】

委員名 ()

できている もう少し

評価項目 1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
			学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、率直に意見を述べることができた。
評価項目 2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。